

# 2024.2Q Results

株式会社すららネット

2024年12月期 第2四半期決算補足説明資料



- 1 2024年12月期 第2四半期業績ハイライト
- 2 2024年12月期 業績予想の修正
- 3 中期経営方針
- 4 会社概要

- 1 2024年12月期 第2四半期業績ハイライト
- 2 2024年12月期 業績予想
- 3 中期経営方針
- 4 会社概要

## 第4期教育振興基本計画

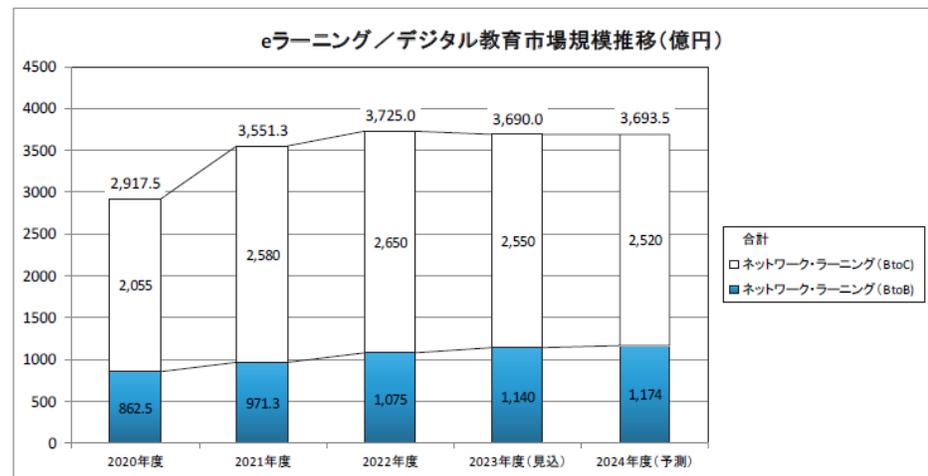
### 5つの基本的な方針



出典： 文部科学省第4期教育振興基本計画リーフレット

自治体や公立高校に向けたGIGAスクール構想が収束し、全国の小中学校への端末の普及は完備され、自治体や学校間でバラつきはあるものの活用状況は増加。当社学校マーケットは、2020年EdTech導入補助金採択事業者となったことをきっかけに、これまで販路がなかった自治体公立高校との契約が堅調に推移。1人ひとりの特性や理解度に合わせて、スモールステップの積み上げにより、自己肯定感を実感し、個別最適な学びを「すらら」等にて提供することにより社会課題の解決と事業の成長を止めることのない活動を行っています。また、教育現場でのICT教材導入に伴う細かなサポートを強化していくために、より一層の組織強化を目指しています。

コロナの鎮静化により、BtoB市場は学習塾を中心に教師や指導者の人的リソースをeラーニングでカバーする需要は堅調ではあるものの、小規模導入の増加による顧客単価の下落進行や競合状況の激化、対面教育の復調によるeラーニング利用機会の縮小による影響で市場の伸びは鈍化傾向。当社塾マーケットにおいても、既存契約校の生徒数減少と独立開業分野での新規契約が低迷した結果、売上高、KPIは減少。BtoC市場はコロナ禍を経て子供の学習意欲の低下が指摘されるなど阻害要因も多い中、当社BtoC市場においては学習に悩みを持つ層に寄り添った「ほめビリティ」サービス等充実のサポートを提供。堅調に推移傾向。



単位：億円

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度(見込)		2024年度(予測)	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
ネットワーク・ラーニング (BtoB)	862.5	126.1%	971.3	112.6%	1,075.0	110.7%	1,140.0	106.0%	1,173.5	102.9%
ネットワーク・ラーニング (BtoC)	2,055	123.1%	2,580	125.5%	2,650	102.7%	2,550	96.2%	2,520	98.8%
合計	2,917.5	123.9%	3,551.3	121.7%	3,725.0	104.9%	3,690.0	99.1%	3,693.5	100.1%

矢野経済研究所推計

出典： 矢野経済研究所「2024eラーニング/デジタル教育ビジネスレポート」

●売上高：967百万円 前年同期比7.3%減少

・eラーニング事業

学校マーケット：自治体の新規契約件数は増えているものの、大口の自治体新規案件獲得が目標に届かず、前年同期比で減少

塾マーケット：放課後デイサービスは堅調、中堅大手塾の生徒利用者数は増加  
独立開業など契約校舎数は増加しているものの、通塾生徒数の減少や、EdTech教材の多様化により、前年同期比で減少

・受託開発事業（ファンタムスティック社）

当社以外での新規受託獲得が、目標達成できなかったことにより、売上が減少

●営業利益：115百万円 前年同期比37.1%減少

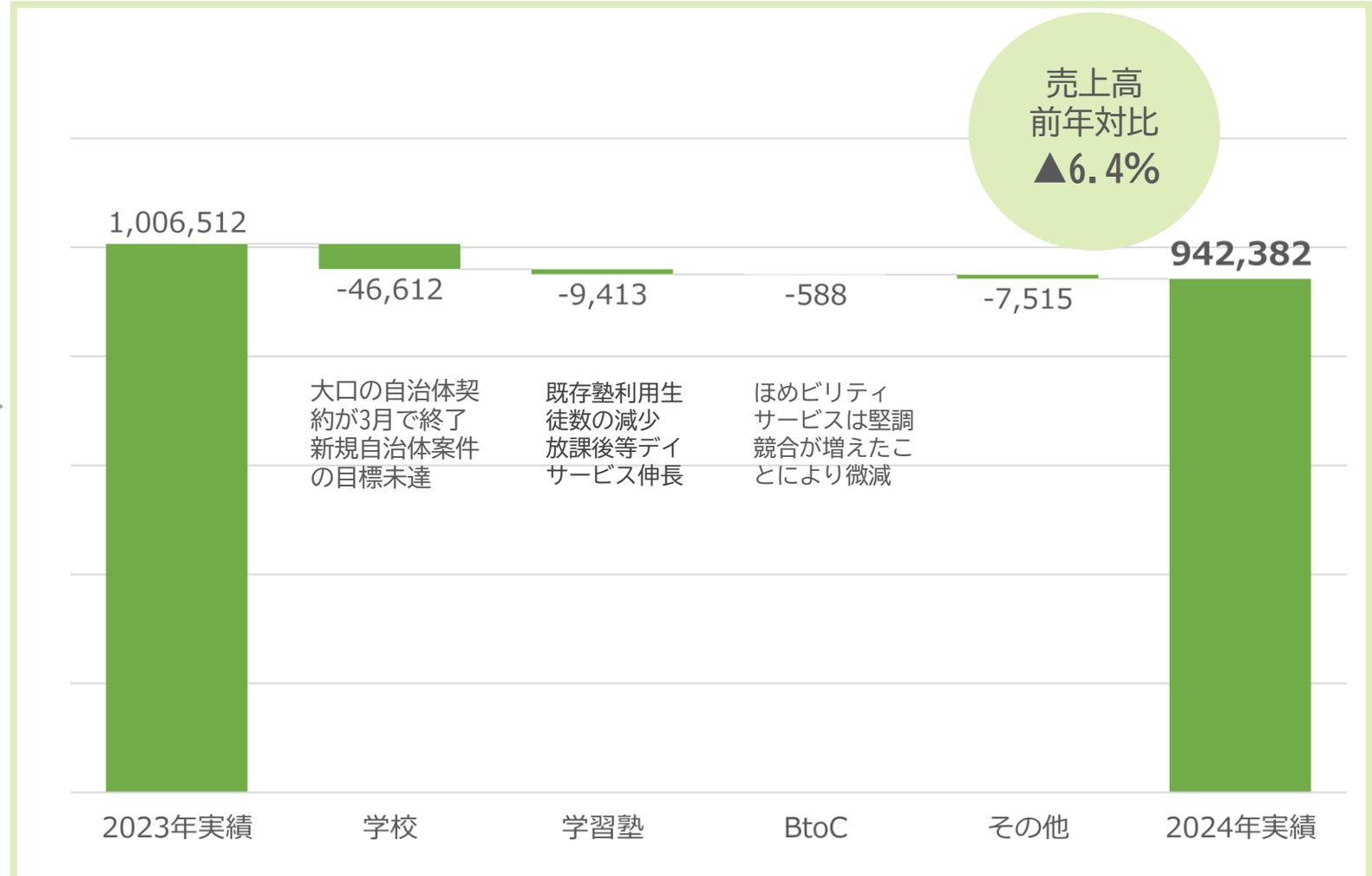
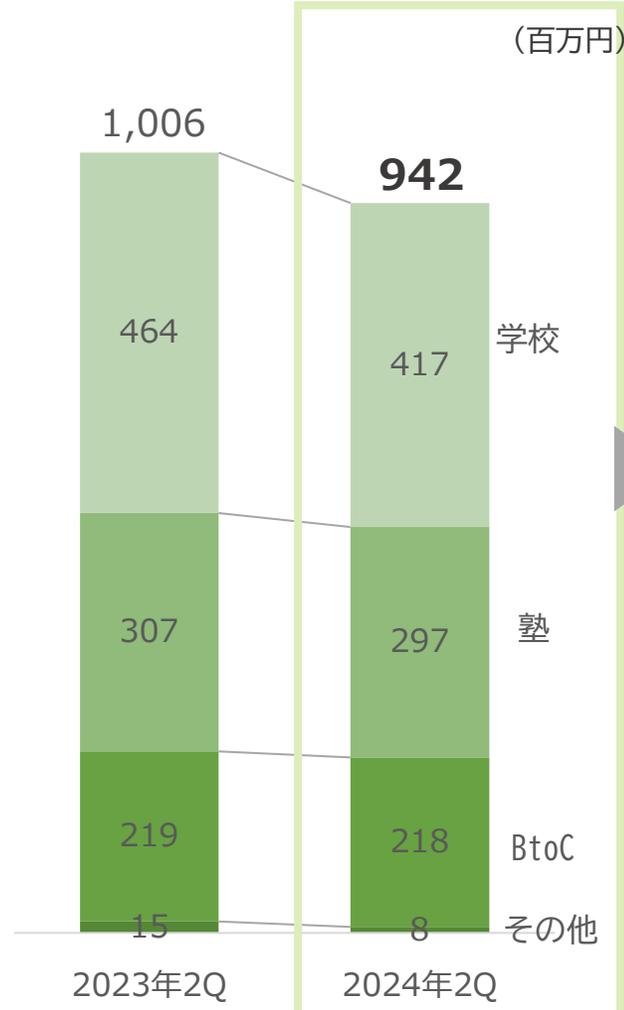
開発投資に伴う売上原価や従業員増加に伴い、売上原価及び販売管理費は計画通りに進捗したものの、売上高減少の影響により、減益

	前年同期比較	影響
学校マーケット		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口の自治体契約が2024年3月で終了したこと、新規自治体案件獲得が想定通りに進まなかった</li> <li>・昨年に引き続き、経産省「働き方改革支援補助金2024」の実証事業に採択されたが、補助金の採択金額が目標に届かず、期初予算がカバーできなかった</li> <li>・公立学校以外の私立学校や専門学校は堅調に増加</li> </ul>
塾マーケット		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅大手塾の生徒数は復調基調</li> <li>・放課後等デイサービスマーケットは堅調に推移</li> <li>・独立開業に伴う契約は増えているものの、通塾生徒利用ID数の減少により売上は減少</li> <li>・新たな施策として、既存塾へのフリースクール開業支援を強化</li> </ul>
BtoCマーケット		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに悩みを持つ保護者向けサービス「ほめビリティ・ペアレンティング」リリース</li> <li>・企業が福利厚生として、海外赴任先での「すらら」活用への問い合わせが増加</li> <li>・不登校や発達障がい市場において、競合が増加したことにより売上は微減</li> </ul>
海外マーケット		<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月以降の新年度に向けて、スリランカの販路拡大、インドネシアでの「すららにほんご」の契約が伸長する予定</li> <li>・インドネシアは7月より現地代理店との販売許諾料契約に切り替わるため、売上は減少するが、業務委託費も減少するため、利益は変更なし</li> <li>・カンボジア公立学校でトライアルがスタート</li> </ul>
開発	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな市場に向けたリスキング教材「仕事に役立つ数学基礎コース」をリリース</li> <li>・顧客ニーズを取り入れたUI/UXを継続的に改訂を実施</li> <li>・高卒認定受験科目「科学と人間生活」コンテンツを追加</li> </ul>

大口の自治体契約が3月で終了、新規自治体案件の獲得が目標未達、  
少子化などにより新学年生徒数が減少し、前年対比売上高が減少

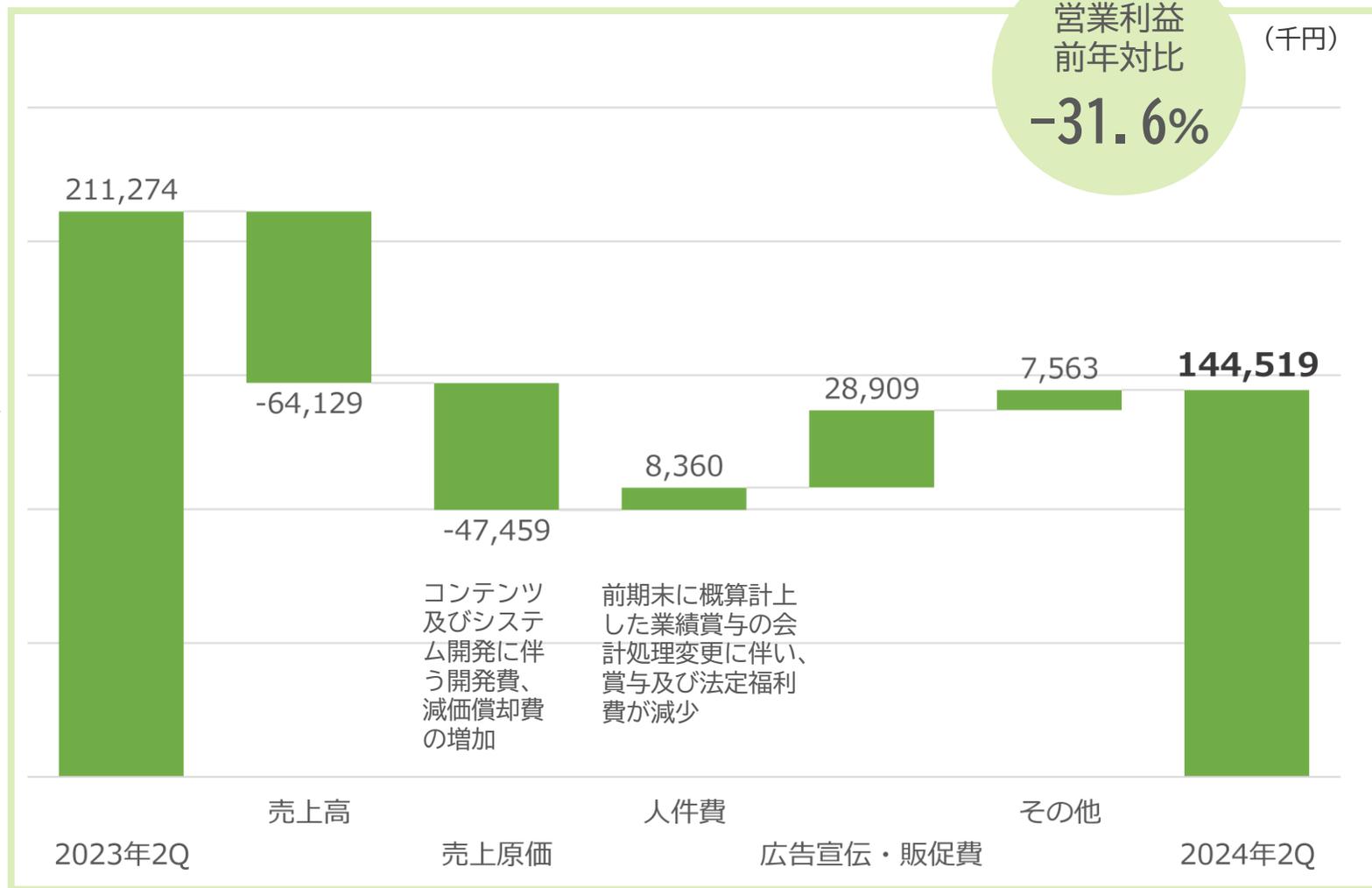
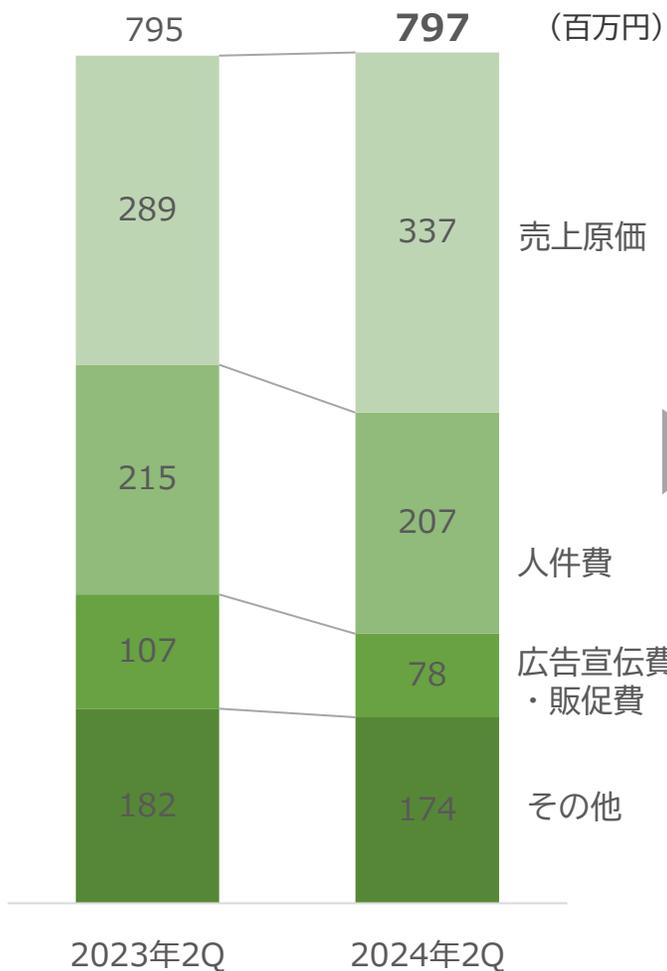
(千円)

<前年同期比較>

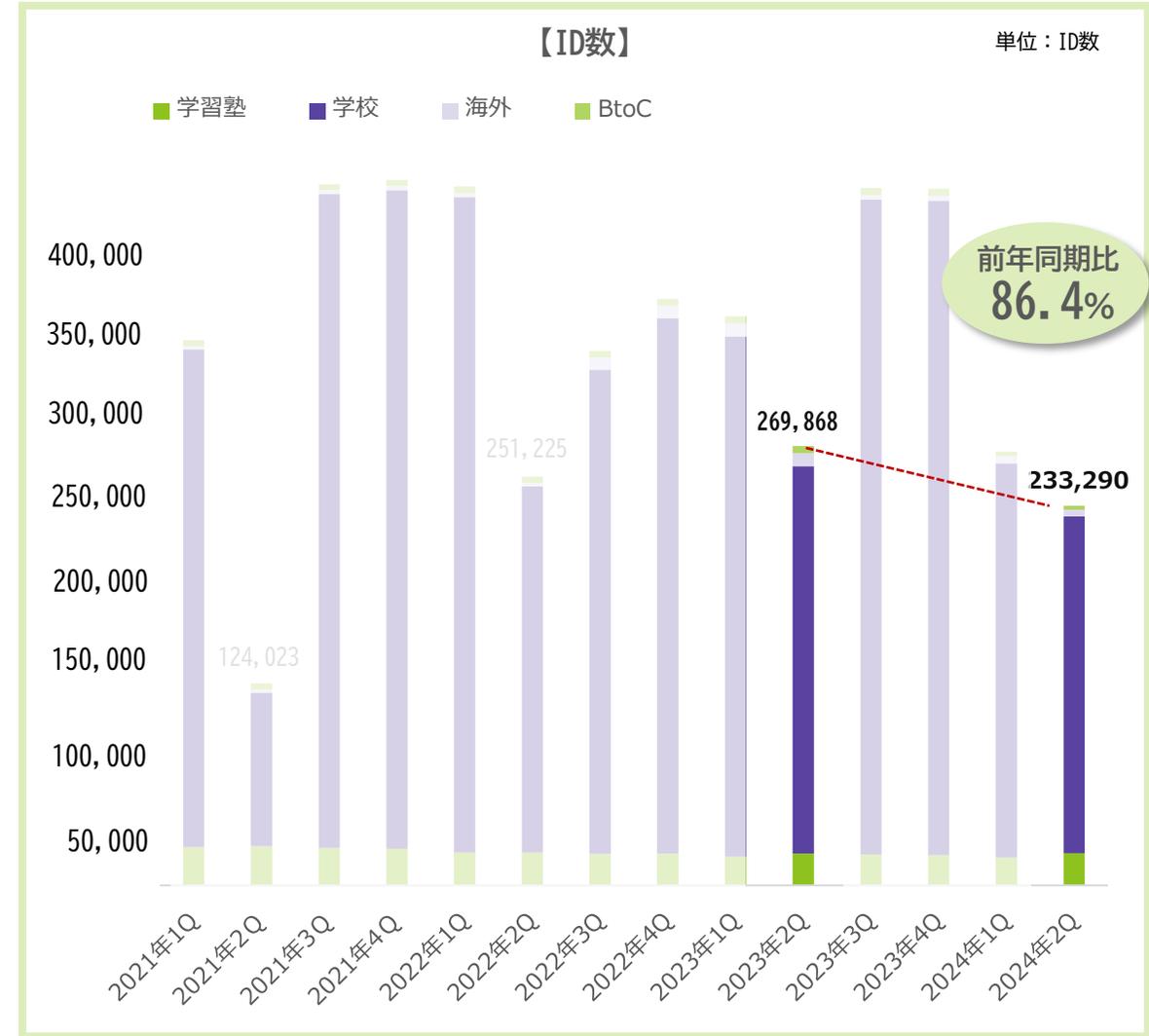
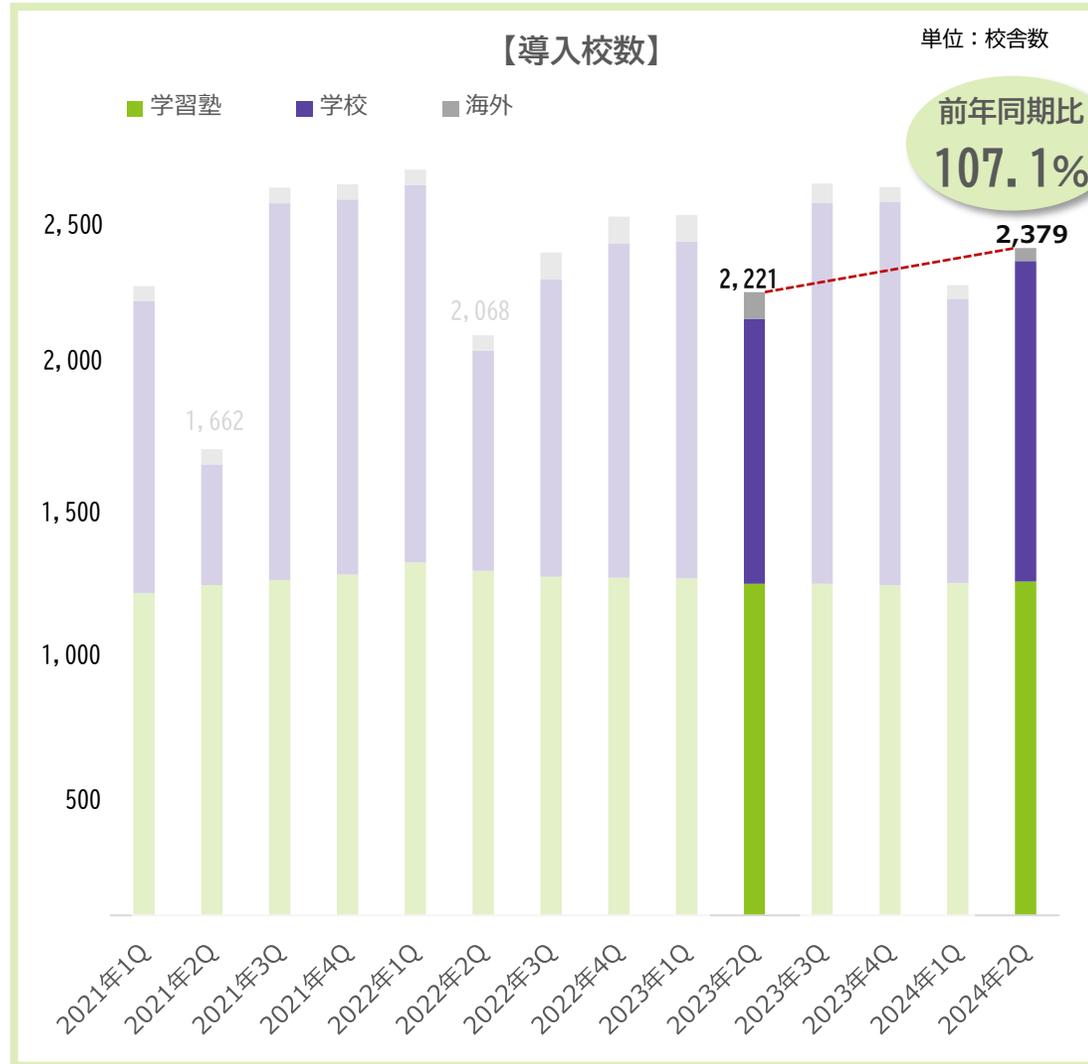


競合との差別化を図るための開発投資にかかる売上原価は増加  
売上高の減少により、減益

<前年同期比支出比較>



導入校数は増えているものの、大口自治体契約が3月に契約が終了したこと、補助金採択実証校と利用者数が減ったことにより、利用ID数は減少



単位：千円

	項目	2022年2Q	2023年2Q	2024年2Q
学校 マーケット	導入校数	784	944	1,142
	(内、公立導入校数)※	561	702	797
	ID課金数	224,804	237,827	206,864
	(内、公立ID数)※	162,139	186,298	132,688
	売上（千円）	479,366	464,043	417,430
塾 マーケット	導入校数	1,229	1,182	1,190
	ID数	20,277	19,564	19,744
	売上（千円）	339,625	307,358	297,945
BtoC マーケット	ID数	3,864	4,349	4,190
	売上（千円）	194,358	219,437	218,848
海外 マーケット	導入校数	55	95	47
	ID数	2,276	8,128	2,492

※：経済産業省補助金採択実証校の校舎数と利用生徒ID数は、含めておりません。  
過年度の数値につきましても、組み替え表示を行っております。

積極的な開発投資によるソフトウェアの増加  
自己資本比率は83%の高水準を維持

単位：千円

科目	2023年6月	2024年6月	前期末比増減
流動資産	1,452,658	1,417,635	▲35,023
現金及び預金	1,193,644	1,153,460	▲40,184
固定資産	1,140,959	1,211,178	70,219
資産合計	2,593,617	2,628,813	35,196
負債合計	469,161	440,824	▲28,336
純資産合計	2,124,456	2,187,988	63,532
負債・純資産合計	2,593,617	2,628,813	35,196
自己資本比率	81.9%	83.2%	1.3ポイント
従業員数(正社員のみ)	88人	90人	2人

## ソフトウェア減損と、のれんの減損に伴う関係会社株式評価損を計上

単位：千円

科目	2023年6月	2024年6月	前期増減
売上高	1,006,512	942,382	▲64,129
売上原価	289,688	337,147	47,459
売上総利益	716,823	605,234	▲111,588
販売費及び一般管理費	505,548	460,715	▲44,833
営業利益	211,274	144,519	▲66,755
経常利益	214,500	146,759	▲67,741
特別損失	—	167,991	167,991
四半期当期純利益又は 四半期当期純損失	148,144	▲63,585	▲211,730

遊休資産となっているソフトウェアを減損処理  
子会社のれん減損に伴い関係会社株式評価損を計上しました

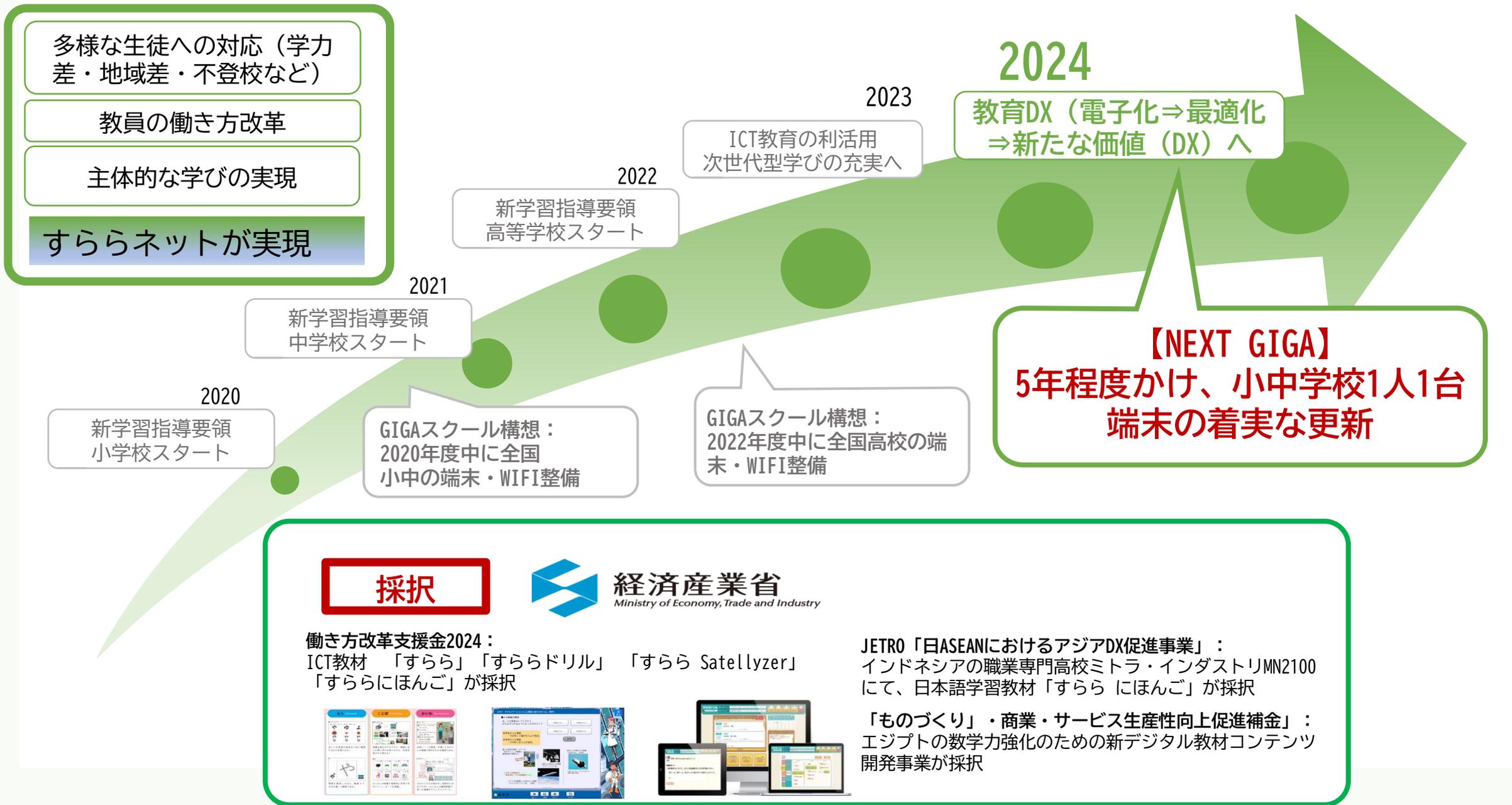
●特別損失 : 167百万円計上

- ・ソフトウェア減損 9百万円  
ソフトウェア資産にかかる遊休資産（運用に係る基盤改修等）を減損処理
- ・関係会社株式評価損 157百万円  
ファンタムスティック株式会社の将来事業計画について乖離が生じ、当初想定していた将来キャッシュフローを見込めなくなったことによりのれんの減損損失76百万円を計上

前年と比較し財務活動にかかるCFは減少。前期と大幅な変化のない支出計画にて進行中

単位：千円

科目	2023年12月期	2024年6月	増減
営業CF	469,703	384,446	▲85,257
(税前利益)	445,745	▲21,232	
(減価償却費)	219,503	132,731	
投資CF	△468,360	▲233,094	235,266
財務CF	△214,512	▲50,165	164,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	306	101	
増減額	△212,863	101,288	
現金及び現金同等物	1,052,171	1,153,460	101,288



**採択**



働き方改革支援金2024：  
ICT教材 「すらら」「すららドリル」「すらら Satellyzer」  
「すららにほんご」が採択



JETRO「日ASEANにおけるアジアDX促進事業」：  
インドネシアの職業専門高校ミトラ・インダストリMN2100  
にて、日本語学習教材「すらら にほんご」が採択

「ものづくり」・商業・サービス生産性向上促進補金：  
エジプトの数学力強化のための新デジタル教材コンテンツ  
開発事業が採択



- 1 2023年12月期 業績ハイライト
- 2 2024年12月期 業績予想の修正
- 3 中期経営方針
- 4 会社概要

eラーニング事業\_学校マーケットにて、大きな自治体契約が3月で終了したことや、新規自治体案件獲得が目標に届かなかったこと、受託開発事業にて、当社以外の受託案件目標を達成できなかったことにより売上高が減少

単位：百万円

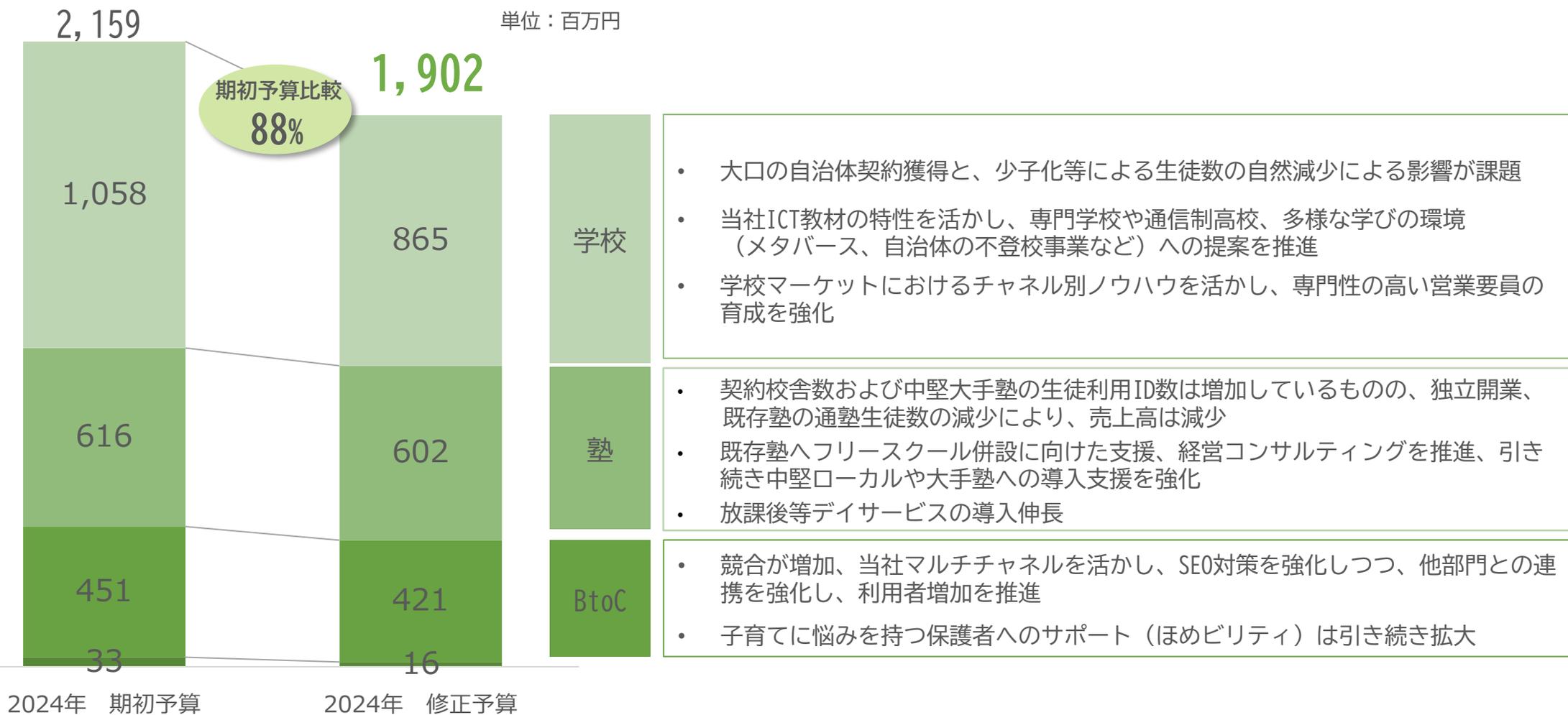
科目	期初予算	修正予算	増減額	対前年実績
売上高	2,295	1,954	▲340	2,145
営業利益	324	160	▲164	387
経常利益	330	167	▲162	392
親会社株主に帰属する 当期純利益	195	88	▲107	304
売上高内訳	期初予算	修正予算	増減額	対前年実績
学校マーケット	1,058	861	▲196	980
塾マーケット	616	602	▲13	619
BtoC	451	421	▲29	439
その他	33	16	▲16	33

補足

当社グループのeラーニング関連事業における売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計額に占める割合が、いずれも90%を超えるため、セグメント情報の記載を省略しております。

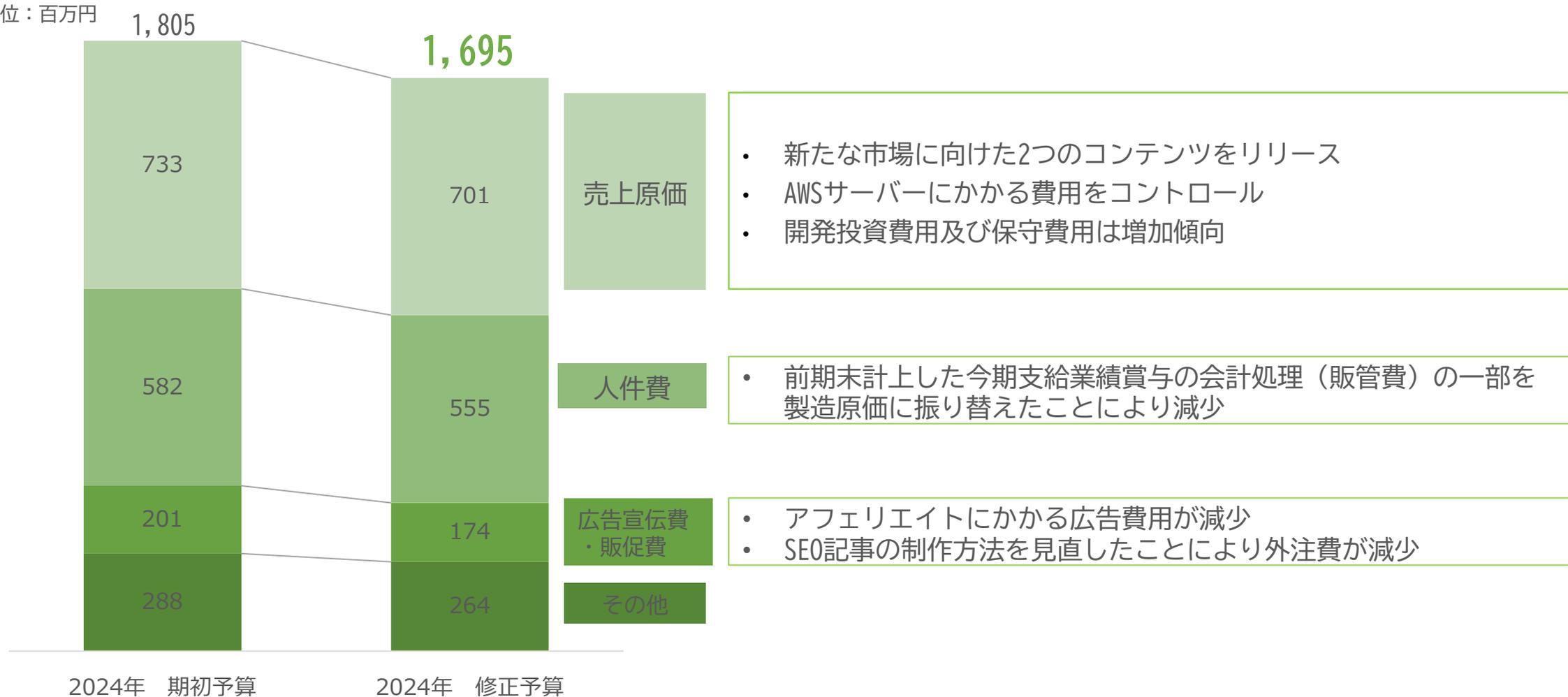
## 全マーケット、期初予算を下方修正

単位：百万円



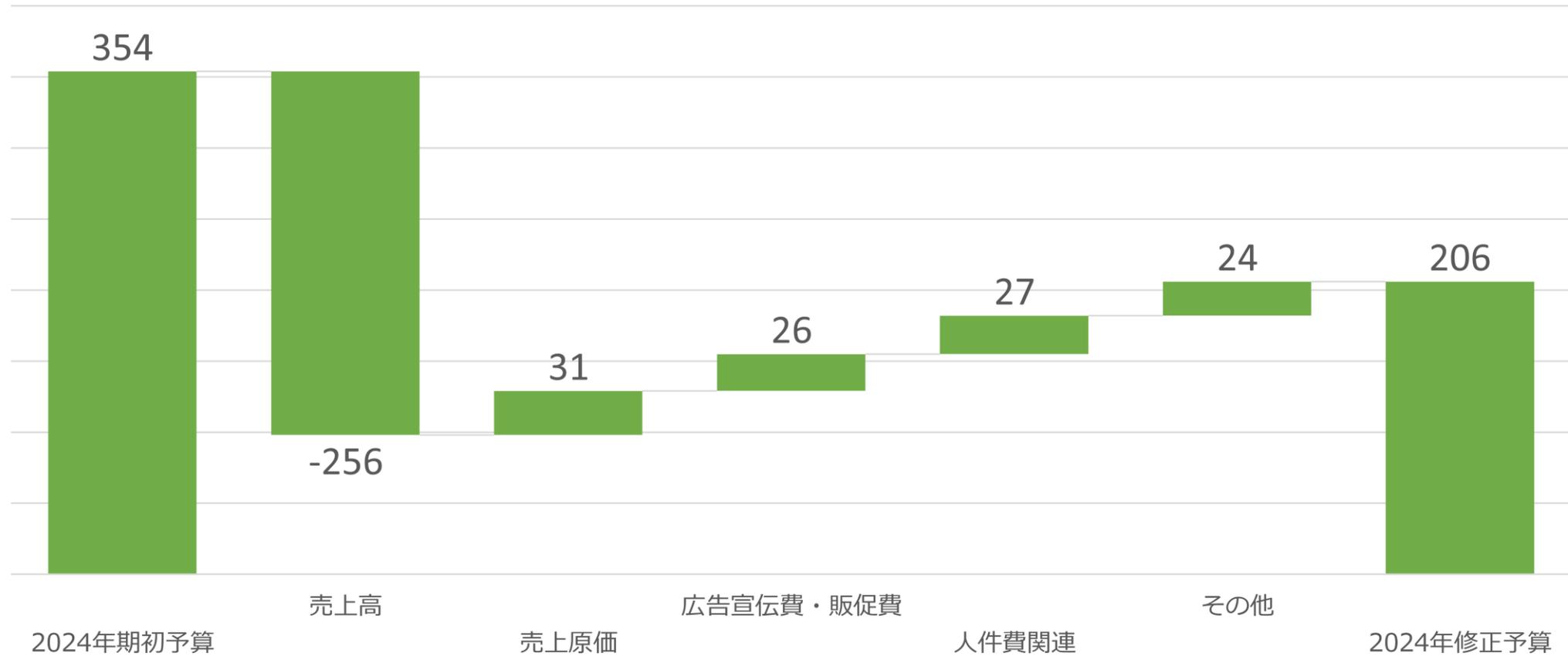
売上原価サーバー等保守費用の支出をコントロール  
業績賞与の会計処理を変更したことにより、人件費関連が減少

単位：百万円



売上高減少に伴い下方修正

単位：百万円



- 1 2023年12月期 業績ハイライト
- 2 2024年12月期 業績予想
- 3 中期経営方針**
- 4 会社概要

## 国内

- EdTechの普及と定着
  - データの活用と成果創出が今後の課題
- 生成系AIの台頭
  - 教育分野での活用の可能性
- 教育目標の変化：「学力」から「資質・能力」へ
  - 進学方法の変化（AO、推薦での大学進学は半分以上）
  - 主体的・対話的で深い学びの推進 ⇒ 探究学習の必修化
- 学びの場の多様化
  - 不登校生約30万人、発達障がい児童生徒の増加  
⇒ フリースクール、通信制高校の増加
  - 専門学校の高度化 ⇒ 一方で学生の基礎学力が課題に

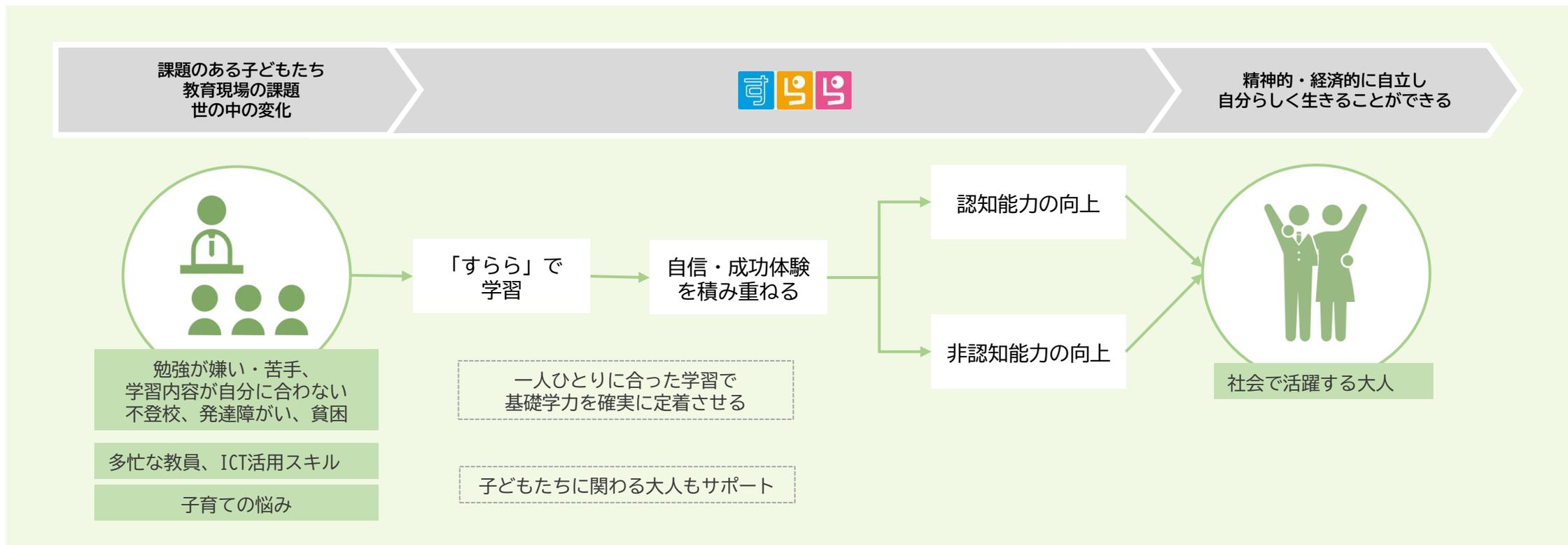
## 海外

- コロナ後の新興国・途上国の日本EdTechのニーズの高まり、普及
- 国策としての海外展開（日本式教育の輸出）

企業理念

教育に**変革**を、子どもたちに**生きる力**を。

ミッション達成へのプロセス



「コンテンツ」×「人」で、小さな教育課題も取りこぼさず解決し、  
子どもたちが自信と期待をもって社会に出られるよう、  
先生や指導者、保護者と共に、より良い教育環境を創造します

真の学びを  
先端技術を活用して実現する

## ICT教材開発

学習者の心の動きも計算されたすららネット独自のレクチャーと、AIをはじめとした先端技術を融合させ、知識・技能の習得に加え学びに向かう力、思考力なども育み、自己肯定感も醸成していく教材を開発



教育現場の  
課題解決に向けた

## コンサルテーション

学校、学習塾、フリースクールや自宅学習など多様化する学びの場における個々の運営課題、教務課題に対するソリューション提案と実現に向けたサポート

## 市場浸透率

### 学校

学校数34,123\*

「すらら」「すららドリル」  
導入校数  
1,366校

市場浸透率  
4.0%

\* 文部科学統計要覧（令和4年版）

### 学習塾

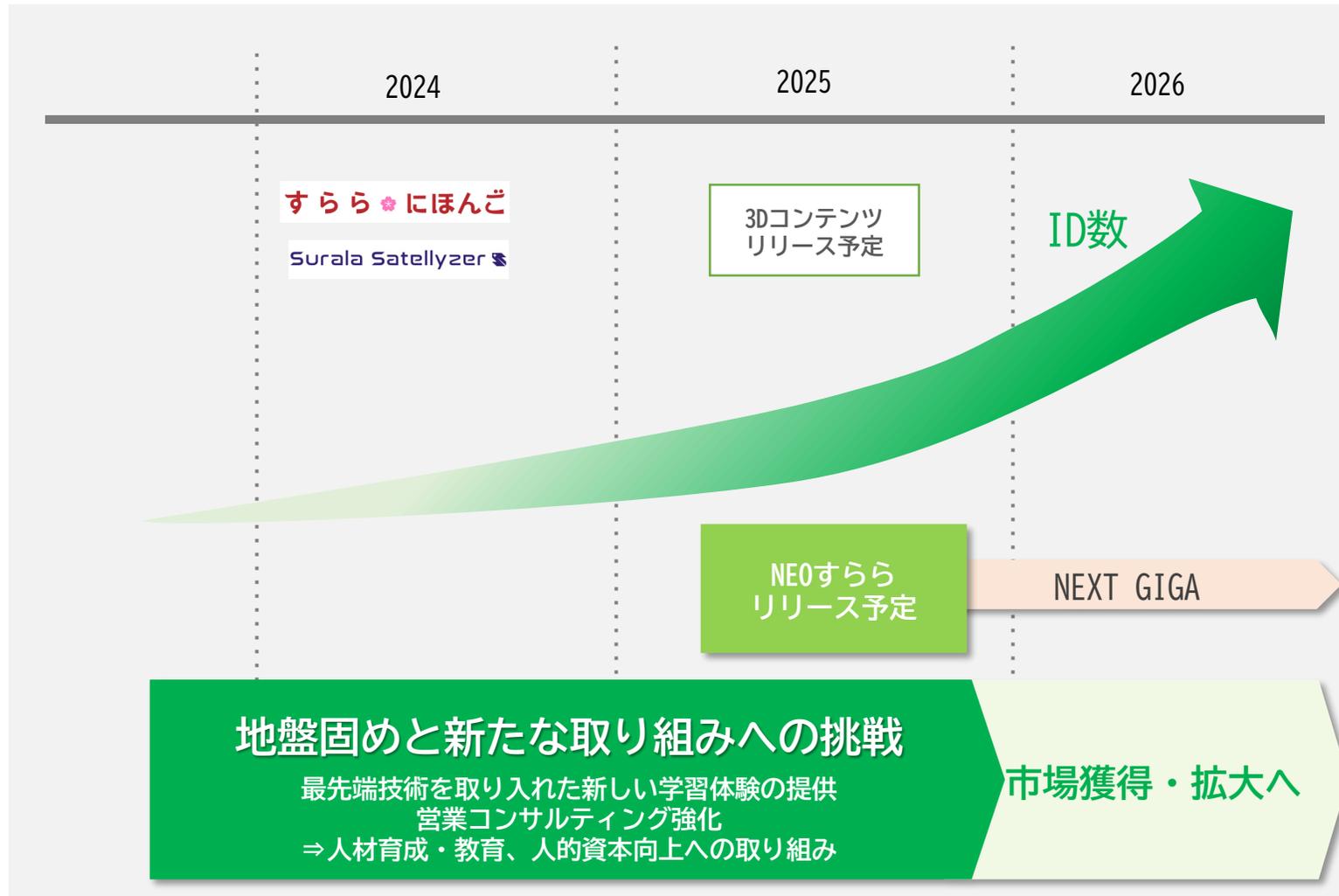
事業者数52,070\*

「すらら」「ピタドリ」  
導入校数  
1,177校

市場浸透率  
2.3%

\* 総務省・経済産業省2020年  
経済構造実態調査報告書

## 成長ビジョン



## 地盤固めと

## 新たな取り組みへの挑戦

### 開発

- ・ユーザーの声を反映させた既存コンテンツの改良と拡充
- ・3D等最先端技術を取り入れた体験型学習コンテンツの開発、学習者が自身の成長を実感し、自己肯定感を高められる機能の開発⇒ビックデータを活用した学びの個別最適化を提供
- ・次世代型ラーニング・マネジメント・システムの開発

### マーケティング

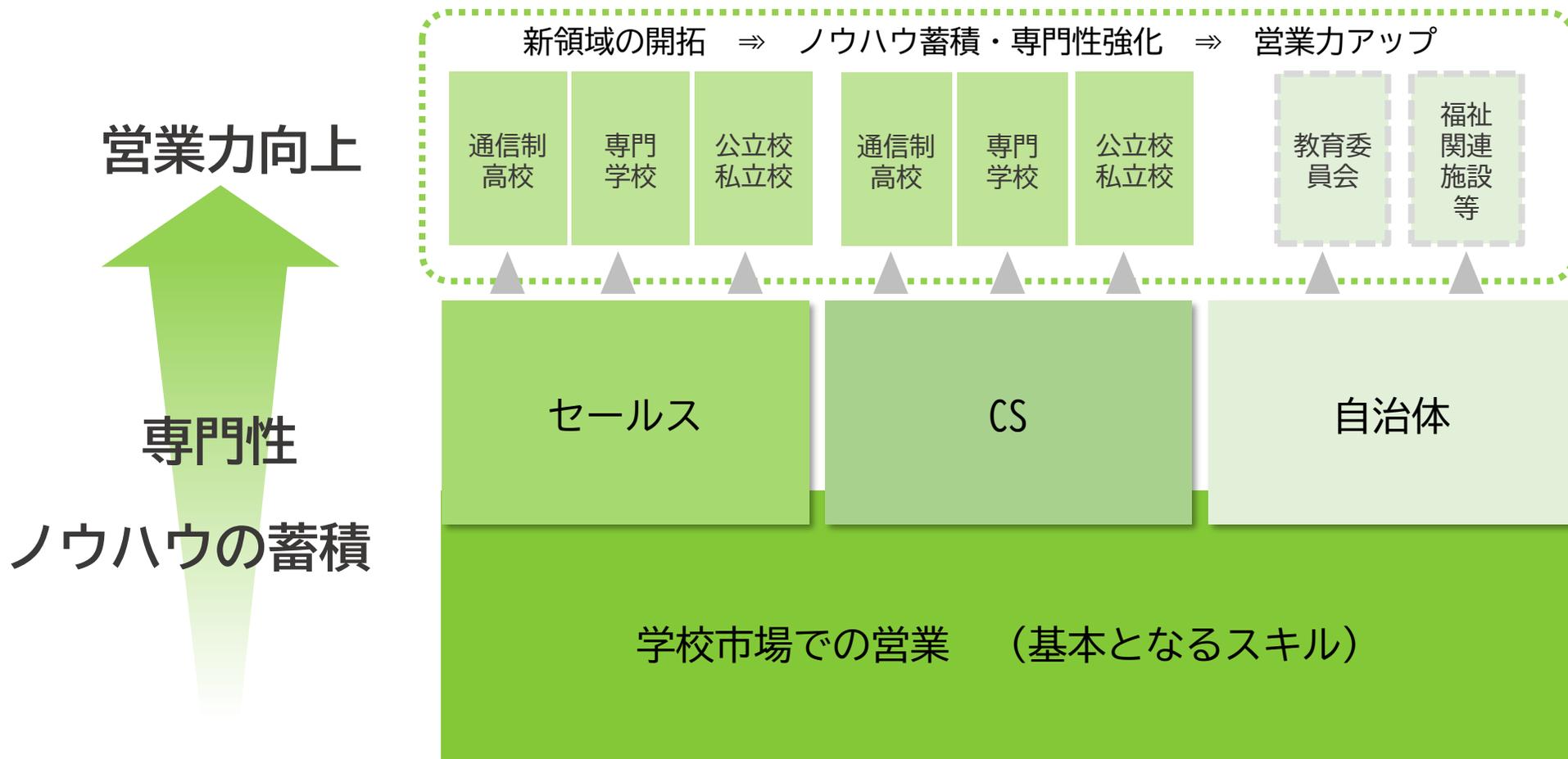
- 【学校】
  - ・導入校におけるデータ活用推進と成果創出のためのサポート強化
  - ・NEXT GIGAに向けた新規提案強化
  - ・多様な学びの場への販路拡大（メタバース空間、通信制高校、自治体の不登校支援事業）
  - ・新たな市場獲得（探究学習コンテンツ、専門学校への営業強化）
- 【塾】
  - ・旧態依然とした地方大手・中堅塾への営業強化
  - ・新型塾運営の提案強化
  - ・就業支援企業との連携による出口支援
- 【toC】
  - ・不登校・発達障がいのブランディング強化
  - ・保護者向けサポート強化（心理系新サービスリリース）
- 【海外】
  - ・中学範囲の拡充開発により従来の小学生から中学生への販路拡大
  - ・「すららにほんご」の販売による日本語教育市場への参入
  - ・NGOの導入促進および国際機関等のプロジェクト参画によるID数の拡大

\* マルチチャネル展開を活かした新コンテンツの横断的営業推進

### コーポレート

- ・企業価値向上に向けた人材の育成、コーポレートブランディングの強化
- ・サステナビリティ経営に向けた人的資本向上への取り組みを継続

担当領域のノウハウの蓄積により専門性を高める人材育成を強化  
そこからさらに新領域開拓にチャレンジし、その分野での専門性を高め営業力につなげる



- 1 2023年12月期 業績ハイライト
- 2 2024年12月期 業績予想
- 3 中期経営方針
- 4 会社概要

# 教育に**変革**を、子どもたちに**生きる力**を。



貧困や障害に苦しむ子どもたち、低学力の生徒、  
世界中の教育格差という社会課題を、  
最先端技術で解決する。  
教育格差を根絶することが  
すららネットの使命であり戦略です。

会社名	株式会社すららネット (SuRaLa Net Co., Ltd.)
設立日	2008年8月29日
本社所在地	東京都千代田区内神田1丁目14番10号
事業内容	AI×アダプティブラーニング「すらら」および「すららドリル」の提供 および運用コンサルティング（eラーニング事業）
決算期	12月
監査法人	太陽有限責任監査法人
役員	代表取締役社長 湯野川 孝彦 取締役 柿内 美樹 取締役（監査等委員） 小林 洋光 藤本 知哉 加藤 慶

今後も中長期における、持続的な事業成長と事業シナジーの創出を図る



## ●eラーニング事業

- ・主に小学生から高校生を対象にした、ICT教材「すらら」「すららドリル」等のコンテンツ開発、サービス提供
- ・顧客へのサービスを活用した教育カリキュラムの提案、サポートコンサルティング支援
- ・マーケティングプロモーション及びホームページの運営



## ●受託開発事業

各種プラットフォーム開発や、ご依頼のニーズに合わせた企業向け「教育」をテーマにした幅広いサービスの受託開発を展開

### すらら探究学習

文部省が推奨する探究学習をデジタル化！  
先生が授業を設定して  
生徒管理も可能。



### 朝日学生新聞

全国の小学校で展開されている朝日学生新聞をデジタル化！  
企業管理画面からコンテンツを自由に投稿できます。



## ●アプリ開発事業

幼児の知育から小学生の学習や教育課題を、最先端技術を取り入れ、ゲーミフィケーションを活用した自社アプリを開発、サービスの提供



国語海賊～小学漢字の海～



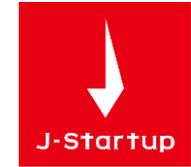
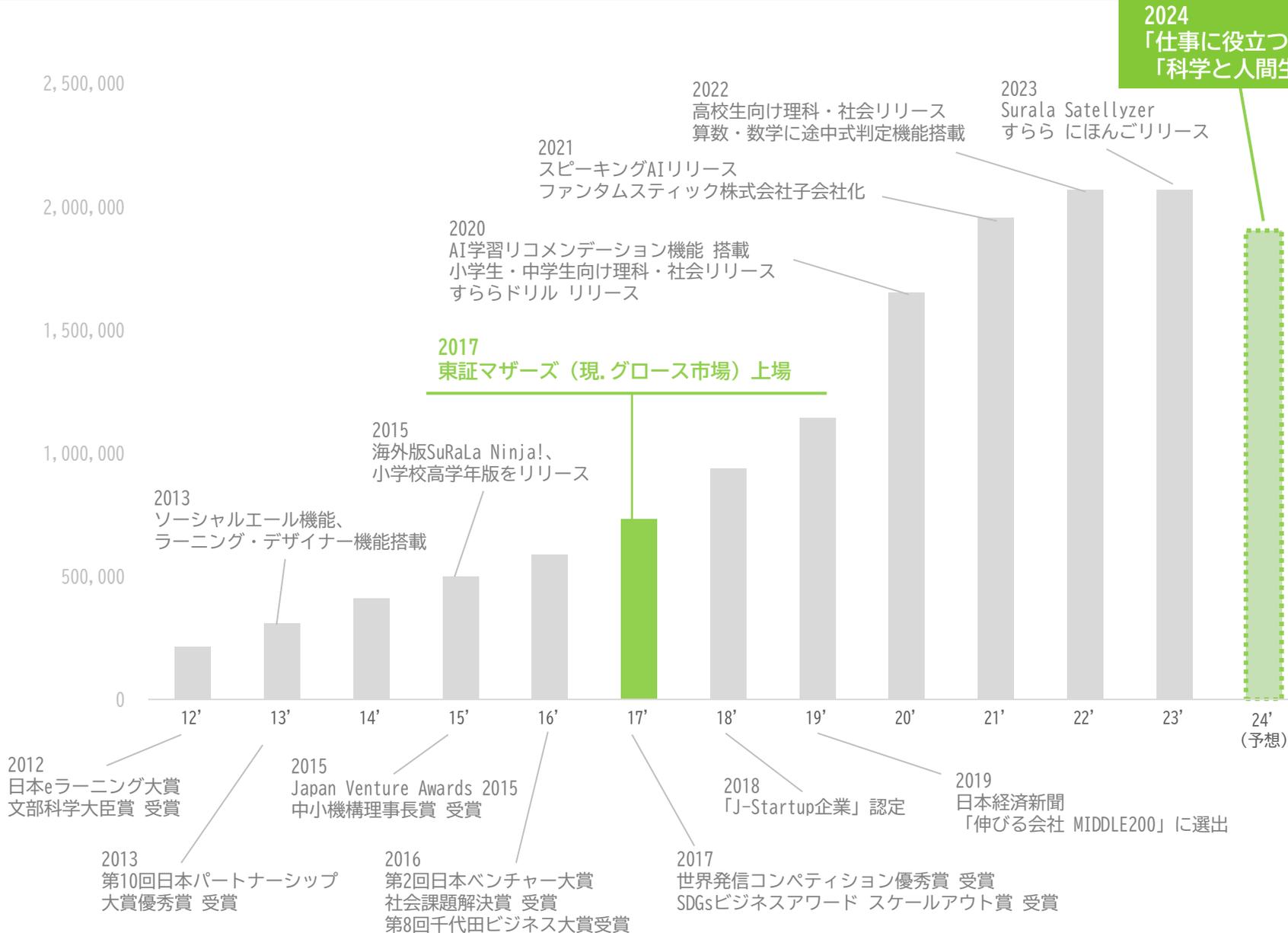
検定ライトユーザーのための  
全く新しい検定アプリ



日本e-Learning大賞  
文部科学大臣賞



Japan Venture Awards  
中小機構理事長賞



政府の特待生「J-Startup企業」  
として認定



経済産業省「未来の教室」  
実証事業に選定



小学生から高校生まで、国・数・理・社・英の5教科を、レクチャー、ドリル、テストの3つの機能で学習できるICT教材。アニメーションキャラクターと一緒に、一人ひとりの理解度に合わせて進めることができる

## ***Surala Ninja!***

海外の小学生向けに開発された、インタラクティブなアニメーションで加減乗除の四則計算を中心とした算数の基礎を学べるICT教材

## **す ら ら にほんご**

国内外の外国にルーツを持つ人たちが就労・留学・生活に必要なレベルの日本語を、アニメーションキャラクターと一緒に、一人ひとりの理解度に合わせて楽しみながら習得できるアダプティブなICT教材

## **す ら ら ドリル**

公立小中学校向けの、国・数・理・社・英の5教科のドリル。一人ひとりの理解度に合わせて進めることができるアダプティブなICT教材

## **Surala Satellyzer**

「未知のものへの興味と感心」「考えを言語化する方法」「スケジュールに沿って仲間とプロジェクトを進めるチカラ」の3つの探究基礎スキルが自然に身につけさせる探究学習専用ICT教材

2024年リリース

### **仕事に役立つ数学基礎コース**

国内外の外国にルーツを持つ人たちが就労・留学・生活に必要なレベルの日本語を、楽しみながら習得できるアダプティブなICT教材

iOSアプリ

かる〜く 検定を学習



- 遊び感覚で100以上の検定が学習できる
- 最短数分から！忙しい人でも、通勤や通学中のちょっとした隙間時間で気になる検定問題にチャレンジすることが可能

iOSアプリ / Androidアプリ

ゲーミフィケーションを活用した子ども向け学習アプリ。シリーズ1000万ダウンロードを突破！

算数忍者



国語海賊



地図エイリアン





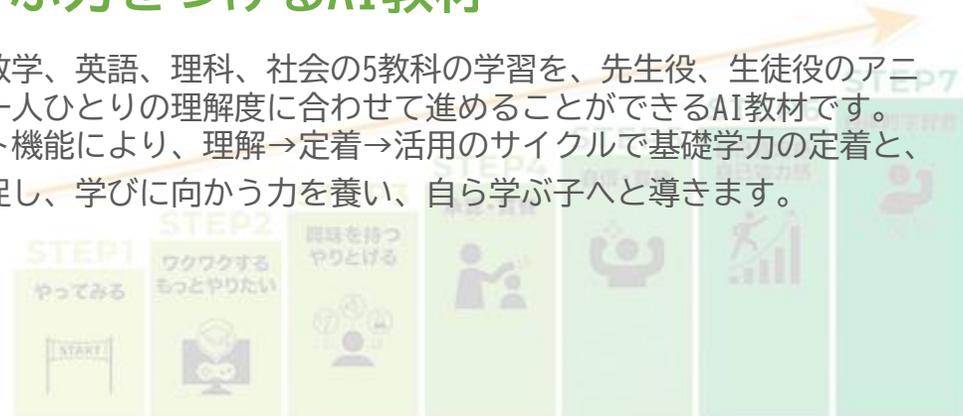
「わからない」を「わかった」に  
「できない」を「できた」に  
「勉強は嫌い」を「勉強って楽しい」に

- 1 体系学習の構築
- 2 ベーシックにこだわる
- 3 「わかる」の連続を生み出す
- 4 つまづき克服サポート
- 5 成長の可視化

## 「わかる」「できる」楽しさを積み重ね 自ら学ぶ力をつけるAI教材



小学校から高校までの国語、算数／数学、英語、理科、社会の5教科の学習を、先生役、生徒役のアニメーションキャラクターと一緒に、一人ひとりの理解度に合わせて進めることができるAI教材です。レクチャー機能、ドリル機能、テスト機能により、理解→定着→活用のサイクルで基礎学力の定着と、学習プロセスを通じて自己効力感を促し、学びに向かう力を養い、自ら学ぶ子へと導きます。



先生役のキャラクターとの掛け合いをしながら進めるのがポイント。ひとりでも理解できる、双方向型レクチャー

問題を解くだけで苦手単元をAIが判断。効率的に学び直しができるドリル、テスト機能

学習への取り組みをポイント化し、ゲーム感覚で子どもたちのやる気を引き出すゲーミフィケーション。

先生や保護者が子どもの学習の進捗を確認できる管理画面。

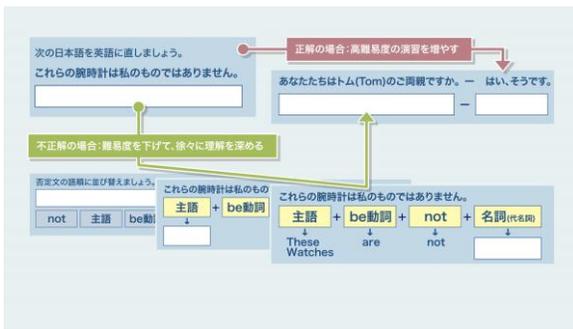




## 公立小中学校向けに ドリル機能、テスト機能に特化したAI教材

同じ教室にいても一人ひとりの理解度、進み方は違います。自分に合った問題が出るから取り組める。児童生徒一人ひとりの学力に応じたドリルと自動作問・採点機能を有するテストで学びの個別最適化を実現します。学校、家庭に関わらず、いつでもどこでも学習できることで、学習量を確保します。

出題難易度コントロール  
システム



つまづき診断システム

<一次方程式の問題>  
1周0.54kmの池があります。この池のまわりを兄と弟がそれぞれ同時に同じ場所から反対方向に歩き始めます。兄の歩く速さを分速30m、弟の歩く速さを分速20mとすると、何分何秒後に2人は会いますか。

問題を解くに必要なスキル

- 速さの計算
- 方程式を立てる
- 方程式を解く
- 単位の計算

間違えた問題の  
該当スキルにフラグが立つ

動画によるレクチャー機能で  
理解をサポート





## 日本式算数を楽しみながら学ぶ

1年生から6年生までの算数・数学※のカリキュラムを幅広くカバー

生徒は、インタラクティブなアニメーションを通じて、小学1年生から6年生までの加減乗除の四則計算を中心に、算数・数学を自分のペースで楽しく学べます。指導者は、学習管理システムを通じて必要な学習課題を設定したり、学習進捗や理解度を把握した上で学習内容を調整できます。これらの特徴により、生徒個々人に合わせた個別最適な学習を実現します。英語、インドネシア語、シンハラ語に対応しています。

※数学範囲は英語版とインドネシア語版のみ対応



“生徒も”そして“先生も”  
誰一人取り残さない探究を実現

言葉で学んで会話ですぐ使う  
「使えるにほんご」を習得

日本数学検定協会とのコラボ  
数学的思考力の土台を固める3つのコース

## Surala Satellyzer

「総合的な探究の時間」について、多忙な  
教員や探究の授業を初めて持つ教員でも取  
り組みやすく、「基礎的な探究スキル」が  
自然に身につくICT教材



## すらすら にほんご

国内外の外国にルーツを持つ人たちが就労・  
留学・生活に必要なレベルの日本語を、楽し  
みながら習得できるアダプティブなICT教材

**もじ Character**

正しい日本語の発音をつねに確認しながら学習できる。

単語を確認しながら、画面上で、文字を書いて練習できる。

**ことば Vocabulary**

語彙を教えるだけでなく、場面に応じた使い分けも学べるから、日常生活ですぐ使える!

たくさんの語彙を効率的に学習できるフラッシュカードを搭載。

**かいわ Conversation**

会話シーンを豊富。学習した文がどんな場面で使われるのか確認できる。

文のつくり方を図式化。視覚的にわかりやすい。たくさん練習問題で、習った知識をすぐにアウトプット。

## 仕事に役立つ数学基礎コース

様々な分野でのビックデータ活用が進んでいる近年において、データから必要な情報を読み取り、分析・考察し日々の業務を活かす基礎的な数学力を習得するICT教材

相関図

＜正の相関関係＞ ＜負の相関関係＞

点の密集度は相関関係の強さを表す。

例) 母親と娘の身長には正の相関関係。  
一方の平均身長が伸びると、もう一方の平均身長も伸びる。

▲レクチャー ▲ドリル

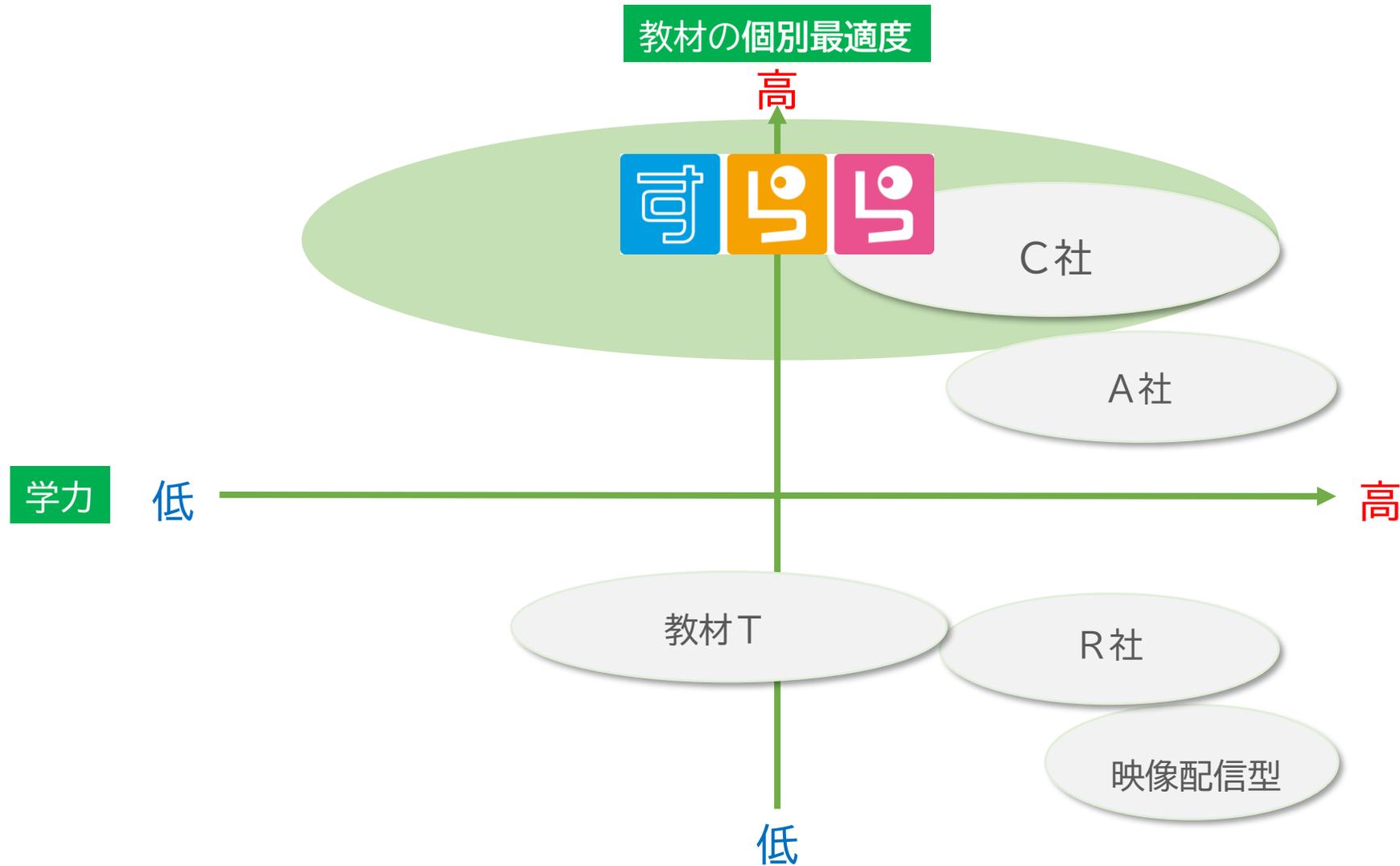
身長(cm)	35kg	40	45	50	55	60	計
145~150	2	2	1				5
150~155	1	4	3	2			10
155~160	2	4	5	2	1		14
160~165	1	1	3	1	1		7
165~170			1	1	1	1	4
計	3	9	10	11	4	3	40

高校を中心に、通信制高校、中学校や  
フリースクール

日本で就労する外国人、国内外の日本語学校、  
国内の就労外国人、外国がルーツの児童生徒など

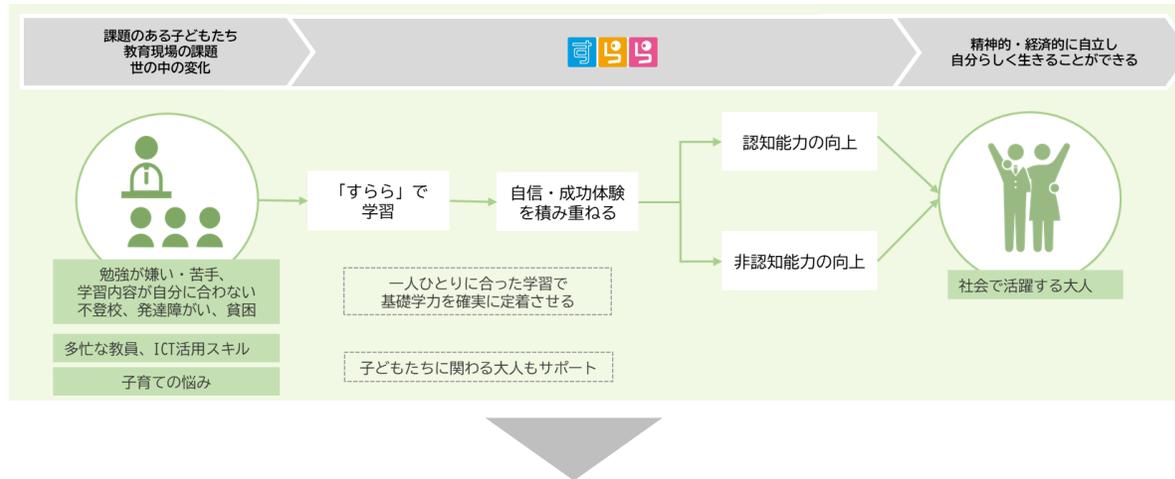
個人学習、専門学校や大学など

どんな子どもも取り残すことなく、その子に合わせた学習機会を提供します

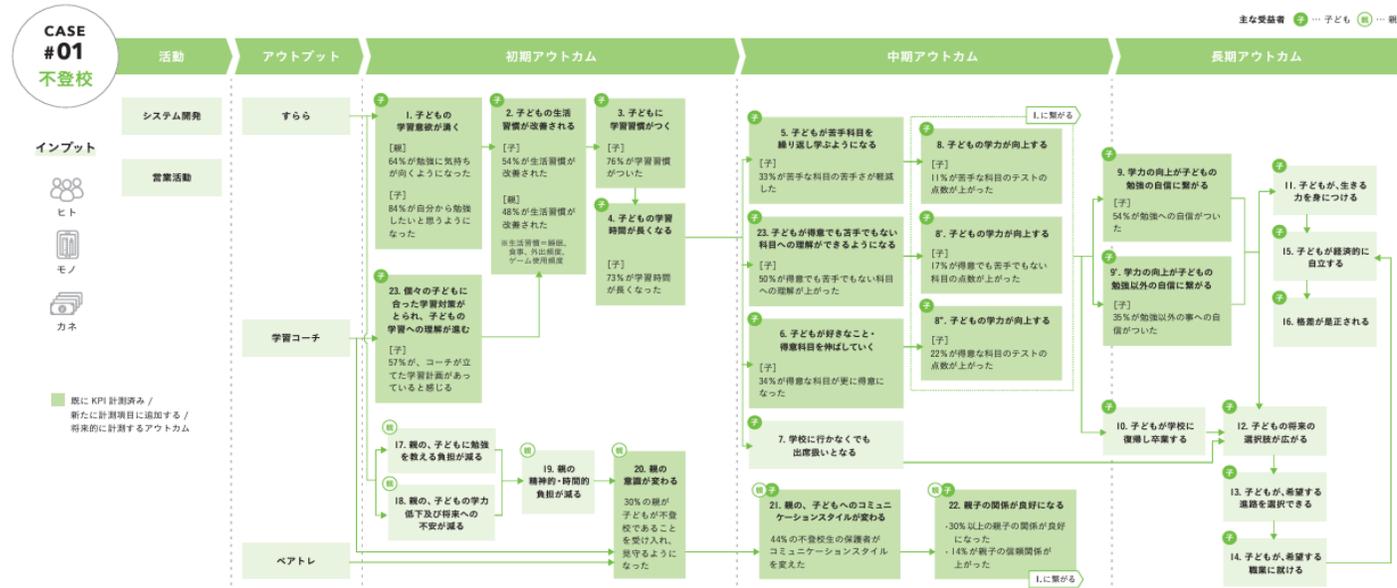


教材の開発提供、独自イベントにより、子どもたちの資質・能力をトータルに育成します





不登校、発達障がい、低学力、貧困の4つの課題に対して、モニタリング、分析して可視化



B to B to C



先生ID付与  
コンサルテーション

利用料金受取



生徒ID付与  
受講フォロー・指導



B to C



生徒ID付与・サービス提供

利用料金受取

学習塾



学校



BtoC



サービス利用料：契約校舎一校につき課金される月額サービス利用料

ID利用料：生徒ID一つにつき課金される月額ID利用料

\*学校法人については契約時に「初期導入料」授受も発生

## 事業を通して、持続可能な社会の実現を目指す

多様化する教育環境に対し、事業を通して社会課題の解決と、持続可能な企業価値向上への取り組みを継続し経営活動を行う



## 人材育成方針



一人ひとりのキャリアをサポート、成長性を高める充実した研修制度を導入、人材育成することで組織強化を行っています。

- ・メンター制度導入
- ・定期的な1on1ミーティングの実施
- ・CC評価と業績貢献による、業績評価を組み合わせた評価制度を実施
- ・インセンティブプラン株式信託制度の導入 (J-ESOP-RS)

## 社内環境整備方針



- ・2021年4月より、フレックス制度を導入
- ・2021年7月より、週に2日のリモートワーク制度を導入
- ・育児制度や育児勤務制度など、ワークワークバランス支援への取り組み  
育休からの復職率は100%、パパ育休制度の普及活動を行い、法改正に伴い施策を適宜改定し、柔軟に対応
- ・健康促進推奨活動を実施 (歩Fes等)

ESGデータ <https://surala.co.jp/sustainability/society/human-capital/>

## 人材育成、社内研修の充実



- ・全社員が経営参画意識を持ち、常に自分事として責任感を持てるよう、年に一度全社員参加型の中経合宿を実施。
- ・法令改正等に伴い、必要な研修を各部門で受講。ハラスメント、コンプライアンス研修等を定期的実施

項目		2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
従業員数 (正社員・契約社員)	ー	72	86	91
	男性	33	35	39
	比率	45.83%	40.70%	41.94%
	女性	39	51	52
	比率	54.17%	59.30%	57.14%
管理職 (取締役除くマネージャー以上)	ー	13	13	14
	男性	7	7	8
	比率	53.85%	53.85%	57.14%
	女性	6	6	6
	比率	46.15%	46.15%	42.86%
女性管理職内訳	執行役員	3	3	3
	部門長	2	2	2
	マネージャー	1	1	1

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



一人ひとりの理解に応じて学習が進められるICT教材により、幅広い子どもへの学習機会を提供

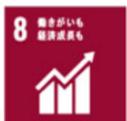
海外小学生向けICT教材「Surala Ninja!」を、スリランカ、インドネシアなどの発展途上国で提供



- ・不登校の子どもへの在宅学習・進学機会の提供
- ・発達障がい・学習障がいの子どもの個別最適化された学びを提供
- ・離島や参画部の複式学級に個別最適化された自立学習を提供
- ・NPOと連携し、相対的貧困層の子どもへ学習機会を提供



- ・海外にて、マイクロファイナンス組織女性銀行と、低所得層家庭の子どもたちに向けた算数教室「Surala JUKU」を展開
- ・孤児やDVにあった子どもたちなどを受け入れている「SOS子どもの村」や「チャイルドファンド」などNGOを通じて当社サービスを提供し支援



- ・国際機関や政府機関の実証事業を通じてより幅の広い支援が必要な子どもたちへ質の高い教育を提供するための制度作りを支援
- ・現地女性をファシリテーター（教員）として積極的に活用し雇用機会を創出

教育に**変革**を、子どもたちに**生きる力**を。

# 免責事項

業績等に関する記述につきましては、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料における業績予想ならびに将来予想は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料は当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

投資家の皆様が本資料をいかなる目的にご利用される場合においても、当社はその責任を負いません。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】  
株式会社すららネット IR担当 [ir@surala.jp](mailto:ir@surala.jp)